



(富倉溜池)

主な内容

- ②～③ 町民の翼
- ④ 功勞者表彰
- ⑤ 防災行政無線
- ⑥ 公立相馬総合病院等
- ⑦ 下水道・統計
- ⑩～⑪ 産業・健康まつり
- ⑭～⑮ 町民のひろば

おなじく感動の旅



▶ローマのコロッセオ(円形競技場)
ローマ市は多くの遺跡があり、遺跡の中に街があるという感じ。コロッセオは、ローマ市民の娯楽のために造られた円形の劇場でローマ最大の遺跡。当時、捕虜、奴隷、囚人などを剣闘士として養成し、流血と剣闘競技、猛獣狩りなどを行い、市民の残虐な娯楽施設として繁栄した。想像するだけでもすさまじい光景に背筋がザワザワ。

第二回新地町海外派遣事業として、ヨーロッパを訪れていた「町民の翼」団員二十名が十月二十八日、無事帰国しました。

今回の派遣は、昨年の男性にかわり各行政区や農協、漁協、商工会など各種団体の推薦で選ばれた女性十八人と団長早川孝昭さん、事務局八巻秀行さんが同行。国際理解を深めるとともに、幅広いものの見方身につけてもらうことを目的に、イギリス、イタリア、スイス、フランスの四カ国を巡る十二日間の旅。それは、初めて見る異国の素晴らしさに感動を覚えながら、自分を見つめ直し、異国の地に立って遠く離れた愛しい家族を思う心であり、二十人が一つの心で結ばれた旅でした。

今回より三回にわたり、町民の翼をお知らせします。



アルプス山脈を通じて最高峰モンブラン(標高4,807m)。そのふもとにシヤモニーからはロープウェイに乗り、標高3,842mのエギーユチユミティ山に出ると、南にモンブランの山頂、北にエギーユグランシヤの山頂が見えるとあって楽しみにしていたが、あいにくの雪のためにロープウェイが使えず、やむえずシヤモニー駅からの登山電車に切り替えたが、それも不通。涙をのんで駅前でバチリ。

石の文化と木の文化



団長 早川 孝昭

(町建設課長)

第二回町民の翼団員一同は、十二日間の視察旅行を無事終えて十月二十八日帰国いたしました。

イギリス・イタリア・スイス・フランス、国の名前を聞いただけで誰もが行って見たいと思う国々、その国を訪れ日本とは文化の違いこそあれ、街並、農村風景、行政の仕組みが違っており、本当に感動してまいりました。

どの国々を訪れても第一に印象が深かったのは、歴史を感じさせる街並と美しさであります。日本は木の文化であります。訪れた国々は石の文化であり、文化の違いこそあれ、よくぞ今日まで保存することができたのかと驚かばか

りであり、古い物を大切にす
る心が建物、道路、樹木に染
みとおっているようでありま
した。どの国々も、寺院・
宮殿等は大切に保存され、博
物館・美術館等の文化施設に
利用されておりあります。

特に、ノートルダム寺院で
は、古代オリエント・古代エ
ジプト・古代ギリシャ時代の
彫刻、壁画類からフランスル
イ王朝時代の美術品、絵画類
に至るまで、気の遠くなるよ
うな時代の作品が保存されて
いることに驚かされました。

また、公園や広場は、広く
芝生が植込まれており周辺の
建物によく調和されており、
それらに繋がる街並も、屋根・
壁の色・高さ・型等全体的に
統一され、道路には街路樹が
植えられ、実に落ちついたた
たずまいになっていました。

このような風景は都市はか
りではなく、農村部も建物等

の色は同色で、牧草の緑と周
辺の樹木と調和され、家の周
り、ベランダには花が植えら
れており、美しい景観は私達の
旅の疲れをいやしてくれました。
また、スイスのジュネーブは
山と湖に囲まれた町であり、世
界の平和を司る国連の機関が
多く、世界各国の方々が活躍し
ており、街並もフランスと同じ
く落ちついた色彩で窓辺には花
があり山・湖に調和されたたた
ずまいの街でありました。スイ
スでの家庭訪問は初めてにも
かかわらず、家族全員で歓迎し
ていただき、話がはずみ時間の
たつのも忘れ、予定時間をオー
バーし、夜中にホテルに帰ると
いうハプニングになってしま
いました。

日本は経済面では世界をリ
ードする立場になりましたが、
行政・文化面ではまだまだ西欧
諸国より劣るべきではない
面が多々あると感じられました。
夢にまで見たヨーロッパ四
カ国を限られた時間でありま
したが、直接肌で感じ、目で
見ることができましたことを、
これからの新しい町づくり
に生かしていきたいと団員一同
心を新にしております。本事
業のさらなる発展を期待して
報告いたします。



▶イタリアのティボリ市

研修地であるティボリ市は、ローマから三十キロのところであり、古代ローマからの別荘地で知られ、温泉も出ている。別荘ビラ・テステ庭園には、大小さまざまな噴水があり、それを見るだけでも、たっぷり二時間は楽しめる。ティボリ市は、ローマから近いため観光客が多く訪ねるが、宿泊はローマの近くで経済効果に結び付かない悩みがあり、どこかの町(?)に似ていた。

多年の功績をたたえ 町功勞者表彰

町では毎年、町勢の進展と公共の福祉に貢献され、その功績が特に模範となった方々や団体を表彰しています。今年の表彰式は十一月三日、農村環境改善センターで自治・教育文化などに功勞のあつた四人の方々を、表彰しました。また、町や社会福祉協議会等に多額の金品等を寄せられた十六人・十三団体に感謝状を贈りました。受賞者のみなさん、まことにおめでとございました。



表彰者

自治功勞

荒 巖氏(58歳・木崎)

昭和三十三年九月から平成四年三月までの三十三年七月の永きにわたり、新地町職員として勤務され、教育次長、産業課長等として町政の発展に寄与しました。

田村利夫氏(58歳・相馬市)

昭和三十四年十一月から平成四年三月までの三十二年五月の永きにわたり新地町職員として勤務され、税務課長、農地整備課長等として、町政の発展に寄与しました。

寺島 功氏(58歳・釣師)

昭和三十四年十一月から平成四年三月までの三十二年五月の永きにわたり新地町職員として勤務され、保育課長、教育次長として、町政の発展に寄与しました。

教育文化功勞

菅野八重子氏(68歳・菅谷)

多年町内小学校に勤務し、昭和五十八年四月からは駒ヶ嶺小学校校長として、子弟教育に尽力され教員退職後は県青少年健全育成県民運動指導

感謝状贈呈者

(敬称略)

員、町学校週五日制推進委員を努めるなど本町の学術教育の発展に寄与しました。

新地鉦産(株)代表取締役 土井誠一
(駒ヶ嶺)、(株)マルゼン代表取締役 高橋俊雄(相馬市)、菅野強(小川)、角田建設(株)会長 角田吉明(上真弓)、齋藤研(埼玉県)、吉村光昭(埼玉)、小野鉄工所 小野秀雄(新地町)、(有)荒工務店代表取締役 荒貞夫(中里)、大日本土木 荒工務店建設工事共同企業体代表 大日本土木(株)仙台支店支店長 小沢繁継(仙台市)、(株)新栄建設代表取締役 大久賢市(小川)、加藤光子(移住)、荒正昭(大山田)、名取源五郎(新地町)、小野義一(小川)、新地町建設業協会 会長 角田義正、鈴木一(沢口)、(有)渡辺建設代表取締役 渡辺謙(今泉)、(有)マルサン村井水産代表取締役 村井三男(釣師)、かめや工機(株) 亀谷護(原町市)、渡部入(中里)、立正佼成会原町教会 伊藤昌弘(原町市)、医療法人 遠藤内科医院 理事長 遠藤徳雄(小川)、阿部英雄(岡)、齋藤ゆき子(新地町)、目黒清文(富倉)、永井和男(富倉)、横尾富男(中島)、林昌美(大山田)、八巻定男(菅谷)

人にやさしい町づくり 防災行政無線工事始まる

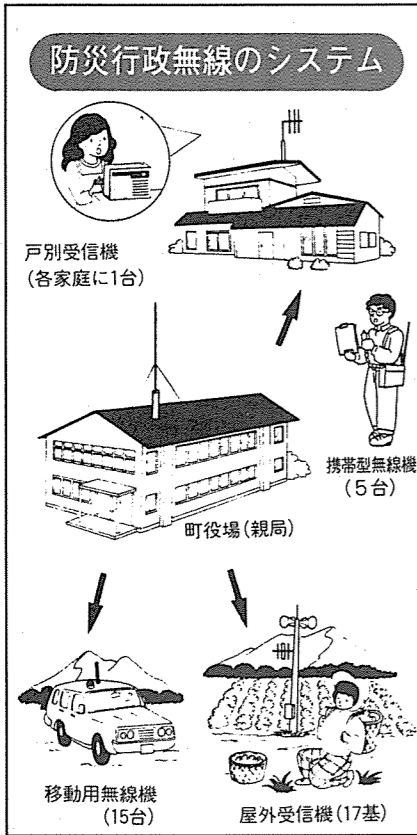
町では、災害や行政情報などをいち早くお知らせするため、町内各世帯に防災行政無線を設置することにしました。平成四年度の電源三法交付金事業として行われ、事業費一億七千四百七万円。工事は十月二十三日から始め、来年四月から供給開始となります。

各家庭に1台 屋外に17基設置

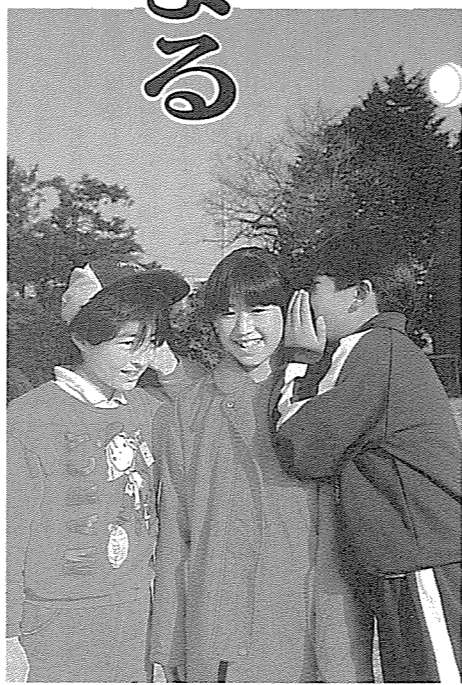
これは町役場に放送施設親局)を設けて、全町一元放送により、各家庭に放送ができるシステムになっています。左記の図で説明しますと、まず役場に自動プログラム放送装置や自動通信記録装置など

各家庭の負担は 維持費だけ

を備えた親局を開設します。そして、町内各世帯と学校、保育所合わせて二千カ所に戸別受信子局を一台づつ無償で貸付けをします。さらに、各行政区と沿岸地域に屋外拡声子局を併設。携帯型無線機五台、町公用車には移動局十五台を取り付けます。



各戸に貸付けられる受信子局は電話程度の大きさで、家庭用電源を使用しますが、電池も併用でき、停電でも機能します。この戸別受信子局は各家庭に一台ずつ



無償で貸付けます。各家庭の負担は、電気料や電池の交換にかかる維持費だけです。負担は次の通りです。

- 電気料 月額 五十円程度
- 電池代 半年か一年に一度電池を交換します。(五百円程度)

安心して住める 町づくりを目指し

このシステムにより、火災、

防災行政無線の設置により、災害に強い、安心して住める町づくりに向けて大きな期待が寄せられています。

●屋外拡声子局場所

1	沢口公会堂
2	勤労青少年ホーム
3	上真弓公会堂
4	作田公会堂
5	木崎公会堂
6	埴浜公会堂
7	釣師公会堂
8	新地漁協
9	今泉公会堂
10	藤崎公会堂
11	駒ヶ嶺公民館
12	高田公会堂
13	菅谷公会堂
14	杉目屯所
15	岡公会堂
16	二羽渡神社
17	富倉公会堂

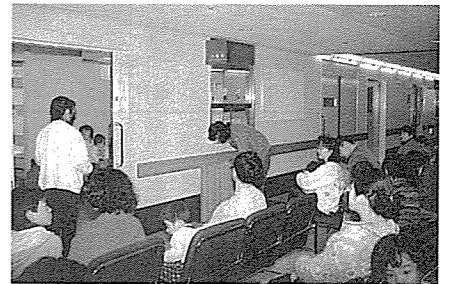
第3病棟完成

外来診察室やICU設置



昨年の七月から行われていた公立相馬総合病院の増改築工事のうち、南側の第3病棟が完成し、十一月二十一日から新病棟での診察が始まりました。

完成した第3病棟は、鉄筋コンクリート地下一階地上三階建て。一階が外科、小児科、整形外科などの外来診察室、二階は産科と小児科の病室、ICU（集中治療管理室）など、三階は内科病室、CCU（心臓病強化治療室）などとなつています。病室は特別室二十室を含む三十三室。地下は眼科外来と給食室がはいっています。受付事務は従来通り



▲ 診察が始まった第3病棟

の窓口となつていきます。第3病棟の完成後、第一、第二病棟の改築に着手し、平成六年一月の完成を目指しています。

統計でみる新地町②

平成2年度 国勢調査 従業地・通学地 依然、他市町村へ流出

平成二年十月一日現在の町の十五歳以上の就業者・通学者は、五千五百人で、昭和六十一年の四千八百七十二人に比べ、百三十三人（二・七％）増加しています。

このうち、通勤・通学による就労・通学者の流出を見ると、他市町村への流出数は二千二百七十八人で、昭和六十一年の千八百七十七人に比べ四百六十一人（二五・四％）増加し

第十回相馬地方農業用施設維持管理優良者表彰式が十一月二十四日、原町合同庁舎で行われました。これは、溜池や用・排水路などの農業用施設を適正に管理、運用している個人や団体を表彰する制度で、新地町からは管理人として施設保全と計画的な配水に尽力した三人の方が受賞されました。受賞者は次のとおり。

農業用施設維持に尽力 伊藤実さんから表彰



▲原町農地事務所長から表彰を受ける伊藤実さん

ています。常任就労・通学者の伸びと流出者の伸びを見てわかるように、この五年間により多くの人が町外で通勤・通学するようになったことを示しています。さらに、比率では四五・五％の方が町外に通勤・通学しています。

他市町村から新地町への流入数は八百七十三人で、昭和六十一年の五百七十九人に比べ、二百九十四人（五〇・八％）増加しています。流入先では、七割が相馬市で、以下、山元町、鹿島町、原町市、丸森町

の順となつていきます。昭和六十一年との比較では、丸森町と原町市との順位が逆転、就業者も丸森町だけが減少するという結果になつていきます。一方、流出先では、半数以上が相馬市で、次いで仙台市山元町、原町市の順になっています。昭和六十一年との比較では、原町市と山元町の順位が逆転し、伸び率でも山元町が三五・一％の伸びとなつていきます。流出総数に占める比率でも、山元町、鹿島町が伸び、相馬市、仙台市、原町市

美しい住みよい郷土は 下水道から

下水道のおこり

「下水道」といふ言葉を最近多く耳にしますが、環境への関心が高まつて来ているこの頃、小さな田舎町でも下水道に取り組む自治体が増えていきます。町でも将来の実施に向けて検討をしていますが、下水道について必要性を認識し理解を深めていただくため、今回よりシリーズでお伝えします。

下水道のおこり

古代ローマやギリシャの都市にも、生活排水や当時すでにあった水洗便所の汚水を屋敷の外に送る「水路」がありましたが、近代的な下水道の起りはロンドンから始まります。中世のロンドンでは、汚水や汚物は道路の側にある溝に運んで道路清掃人が処理することになつていましたが、管理が不十分で二階以上に住む人々は「窓から外に」汚物を投げ捨てることがよく当り前に行われていたという事です。川もゴミが捨てられ悪臭がひどく、コレラ等の伝染病が

日本での始まり

日本でも明治十六年から十八年にかけて東京の「神田」でレンガ管や陶管を使った汚水管の布設が行われ、今でも使われていますが、この場合も少し先に大流行したコレラが契機となつています。文明開花の窓口だったヨコハマの外人墓地にも、同じ頃下水管が布設されました。

明治三十三年には「土地の清潔を保持する」ことを目的とした下水道法が制定され、東



▲ 下水道の整備が早くから行われたイギリス・ロンドン

京をはじめ大きな都市で事業に着手し、近くでは仙台が明治三十二年に着手しています。

なかなか進まぬ整備

しかし、我が国はごく最近までし尿を有力な肥料として、しかも、有償で農地に施肥してきた習慣があり、便所も汲み取り式のため、し尿により水路や河川が汚染される程度も少なく、それが下水道施設の発達を遅らせた主な原因でもありました。その後何回かの法改正により下水道は自分の土地を清潔にするという目的から「公共の水質保全」へと、時代とともに移り変わって来たのです。

次回以降、下水道の役割やしくみ、新地の現状等にも触れて行きたいと思つています。

● 従業地・通学地調べ集計表

(単位：人、()内は％)

	流出先		流入先	
	昭和60年	平成2年	昭和60年	平成2年
相馬市	991 (54.5)	1,216 (53.4)	413 (71.4)	636 (72.9)
仙台市	319 (17.6)	345 (15.2)	0 (0)	7 (0.8)
山元町	134 (7.4)	184 (8.1)	87 (15.0)	90 (10.3)
原町市	142 (7.8)	174 (7.6)	17 (2.9)	26 (3.0)
鹿島町	24 (1.3)	51 (2.2)	21 (3.6)	43 (4.9)
丸森町	13 (0.7)	18 (0.8)	20 (3.5)	18 (2.0)
その他	194 (10.7)	290 (12.7)	21 (3.6)	53 (6.1)
計	1,817	2,278	579	873

● 常住・昼間人口等調べ

	昭和60年	平成2年
常住人口(夜間人口)	8,876人	8,904人
常住就業通学者数	4,872人	5,005人
昼間人口	7,636人	7,497人

依存度が高まっています。従業地・通勤地による人口、すなわち昼間人口では七千四百九十七人と、昭和六十一年（七千六百三十六人）に比べ、百三十九人減少しています。



小説「ああ無情」に登場するバリの下水道

トピックス

トピックスは、町内の話題をカメラリポートするコーナーです。みなさんのまわりにある話題を、企画振興課(☎62-2111)までお寄せください。



町文化祭に 3,000人

新地町文化協会主催による町文化祭が11月22日・23日の両日、農村環境改善センターで開かれました。



会場には生花・書道・盆栽・俳句・短歌など、文化協会の会員や公民館・勤労青少年ホームの各種教室の受講生の作品などが多数展示され、訪れた人たちを楽しませていました。芸能発表の部では、ウイングポップス、おどり会、大正琴、お母さんコーラス、新竜会がそれぞれの練習の成果を披露し盛んな拍手を受けていました。



新地町消友会が 総立総会

会長に飯土井さん

新地町消友会の設立総会が11月19日、ホテル相馬六万石で開かれました。

消友会は地方消防の健全な発展に寄与し、会員相互の融和を図るのが目的。消防団と相馬消防署新地分署のOBと現職幹部合わせて33人で結成され、会長には飯土井鶴吉さん(新町・元消防団長)が選ばれました。



秋の全国火災予防運動

火災のない町に

秋の全国火災予防運動の初日の11月9日、相馬消防署新地分署、町消防団などによる防火パレードが行われました。

新地町の昨年の火災発生数は4件で被害額は9千円、今年になつてからは火災発生件数が2件、被害額は0となっています。

町婦人消防団の結成により軽可搬ポンプ3台が日本消防協会から交付されました。



町交通安全総ぐるみ大会

第16回交通安全総ぐるみ大会が11月5日、農村環境改善センターで開かれました。

この大会は、町民の交通安全意識の高揚を図り交通事故を防止するため毎年開催されているもので、荒町長、相馬警察署長が「事故のない安全な町づくりに努めたい」とあいさつ。続いて各種表彰・伝達が行われたあと、宮本秀和君(駒ヶ嶺小6年)、荒美和子さん(尚英中3年)、森豊さん(老人クラブ連合会)が交通安全についての提言を行い、それぞれの立場から交通事故防止を呼び掛けました。



町老人会婦人部

手作りティシュペーパー入れをプレゼント

町老人会婦人部(片平トシ部長)が、手作りティシュペーパー入れ120箱を作りました。これは、同婦人部が毎年年の瀬に町内の寝たきり老人28人にお見舞い金と日用品、一人暮らし老人77人に日用品を贈っていたものです。今回は、心をこめた手作り品として、ティシュペーパー箱に挑戦、今月中に友愛訪問してプレゼントすることにしています。



右近様まつりで地域おこし

右近様まつりが11月8日、龍昌寺(岡)で開かれました。これは、寺ゆかりの武将・伊達右近をしのぶとともに、地域おこしに結び付けようと始められたもので今年で3回目。3歳から8歳までの子供たちが華やかな衣裳に身を包んでの稚児行列、春風亭梅枝師匠の落語、右近清水の水を使った特製焼きそばの無料サービスなど盛りだくさんの内容で行われ、大勢の家族連れで賑わいを見せていました。



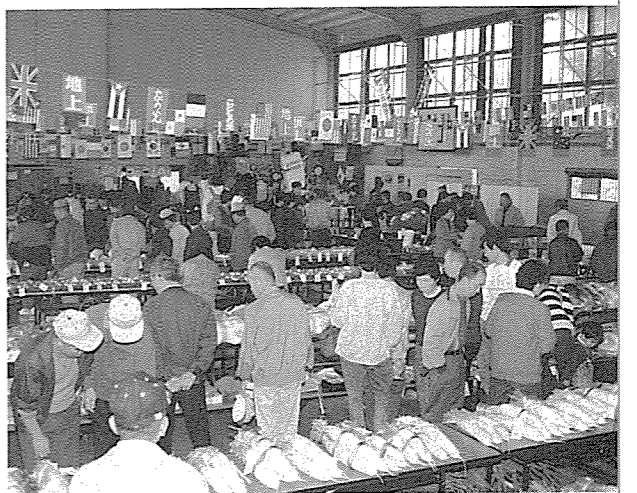
第4回ふくしま駅伝

新地チーム71位 年ごとに力つける

第4回ふくしま駅伝が11月22日、県内90市町村の中から88チームが参加し行われました。

当日は、やや肌寒い一日でしたが雲ひとつない青空に恵まれ絶好の駅伝日和となり、大勢の観客が見守る中、各チームとも全力を尽くしました。

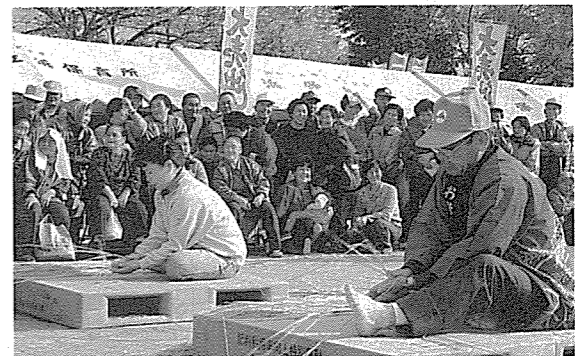
新地町は88チーム中71位、タイムは6時間8分41秒(前回は85チーム中76位、タイムは6時間19分40秒)と昨年より11分も記録を更新しました。健闘した選手団の皆さん、御苦労様でした。



▲ 賑わった農産物共進会



▲ 人気を集めたサンマつかみ取り



▲ 昔とったきねづかで、縄ない競争

表彰者

(敬称略)

● 産業まつりの部

農産物共進会

〈県知事賞〉三宅実(埴浜)ひとめぼれ、〈町長賞〉鈴木文義(沢口)ブロッコリー、〈農協組合長賞〉佐藤慶(中里)小豆、〈五連会長賞〉石田正造(高田)馬鈴薯、〈宮果賞〉加藤徳(岡)ニラ、〈経済連賞〉寺島政直(釣師)コシヒカリ、〈中央会賞〉加藤岩夫(下真弓)大根、〈共済連賞〉早川孝子(岡)柿、〈信連賞〉竹沢長生(高田)白菜、〈仙印賞〉大友武雄(原相善)春菊

シヤンホ野菜コンテスト

〈チャンピオン賞〉阿部豊(新町)、山内安義(高田)、八巻コウ(菅谷)、加藤時夫(杉目)、ヒックリ賞、加藤静枝(原相善)

農事組合対抗縄ない競争

〈一位〉杉目 〇二位〇上小川 〇三位〇駒ヶ嶺町
 かしこコンクール
 〈優秀賞〉駒ヶ嶺保育所(職員、園児一同)

とろろ飯早喰競争

〈各一位〉森弘平(杉目)、佐藤義美(富倉)、今野光雄(大戸浜)

女子尻相撲大会

〈一位〉沢口B 〇二位〇新地B 〇三位〇役場

● 健康まつりの部

健康ポスターコンクール

〈町長賞〉渡邊弘(新地小二年)、荒有香理(駒ヶ嶺小三年)、横田明子(福田小六年)、水戸久美子(尚英中二年)

健康標語コンクール

〈町長賞〉西牧直(新地小三年)、齋藤康志(駒ヶ嶺小二年)、荒恵子(福田小六年)、加藤智英(尚英中二年)、清野正子(中島)

健康な歯表彰

(70歳以上で20本以上)

佐藤傳(鉄炮町)、加藤智記(上真弓)、佐藤良(新地町)、加藤キミイ(新地町)、佐藤啓治(釣師)、寺島ココ(大戸浜)、橋本正一(藤崎)、横山孝治(明地)、岡田定市(杉目)、水戸チヨコ(新地町)、井上茂(中島)、東ヒサオ(大戸浜)、森久(菅谷)、佐藤タケ(富倉)

新地町ふるさと産業・健康まつりが十一月十四日・十五日の両日、新地小・尚英中、柔剣道場などで開かれ、好天の下、約三千人の町民が秋の祭典を楽しみました。各会場には、農家の人たちが丹精込めて育てたダイコンやハクサイなどを並べた農産物共進会、家具、電気製品などを展示、販売する商工業展、体力測定、食生活改善などの健康コーナーが設けられました。さらに、米消費拡大の推進としてひとめぼれの無料配布、百円で二回サンマつかみ取りなどが人気を呼びました。

また、尚英中のブラスバンド演奏、駒ヶ嶺小の一輪車乗り発表、さらに、とろろ飯早喰い、縄ない競争、しり相撲、輪投げ大会などのイベントもあり、会場には町民の笑顔と歓声が広がっていました。二日目の十五日は、一年間医療給付を受けなかった国保家庭や国保、社会保険を問わず一年間医療機関にかからなかったお年寄りらを表彰しました。表彰終了後、落語家立川談志さんが「笑いと健康」と題して記念講演を行い、町民約三百人が、談志師匠の風刺の効いた独演会を楽しみました。

賑やかに秋の祭典

とろろ飯まつり

産業・健康まつり



▲ 健康が一番、血圧はどうか



▲ すばらしい作品がいっぱい、健康ポスター



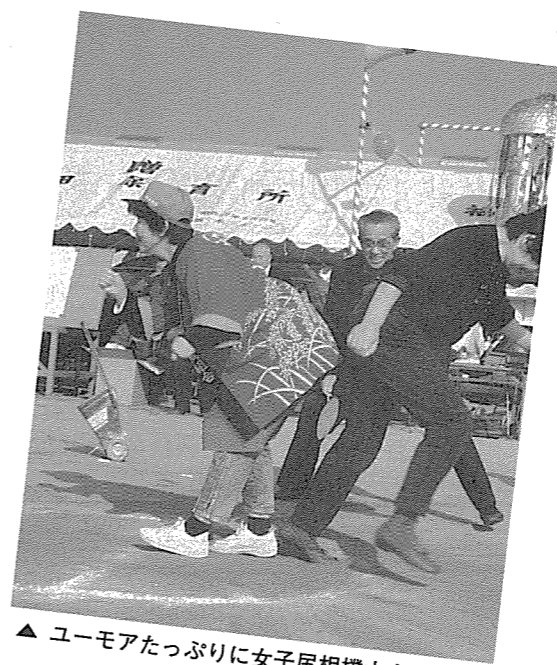
▲ バランスのとれた食事を試食コーナー



▶ 独特の技術で楽しませた立川談志さん



▶ 楽しかった輪投げ大会



▲ ユーモアたっぷりな女子尻相撲大会

真心の浄財131万円

今年の共同募金の総額は、百三十一万九千七百七十一円でした。皆さんの心のこもった募金、ありがとうございました。

(町社会福祉協議会)

赤い羽根募金



みんなひとりじゃないんだ。

赤い羽根募金

ご寄付ありがとうございました

- 一般寄付
 - アルプス電気(株)相馬事業部より 二万円
 - 東北電力相馬営業所、ユアテック相馬営業所より 街路灯一基及び設置工事 十万円
- 社会福祉協議会へ
 - 新和工業(代表荒二夫・今神)より 十万円
 - 故佐藤ミサ子さんのご遺志により佐藤功さん(富倉)より 十万円



教育振興基金へ

- 立正佼成会原町協会より 十四万円



- 中江章さん(釣師)より十万円
- 新竜会より 三万円

▲ 荒町長へ寄付を手渡す立正佼成会の皆さん

鹿狼山入口に水洗トイレ、山頂に山小屋を設置

町民の憩いの場として親しまれるよう鹿狼山の整備を進め、遊歩道や山ろく一帯に山桜、ドウダンツツジ、イロハモミジなどを植栽、またベンチやテーブルの設置、案内板、案内標識を整備してきました。

今回、さらに鹿狼山の入口に水洗トイレを整備中で、完成予定は、12月21日となっています。また、山頂には山小屋を整備しています。ぜひ、元朝登山においでください。

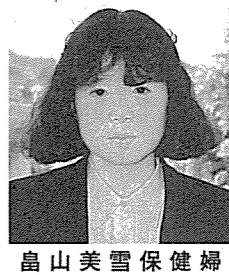


▲ 完成が待たれる鹿狼山入口の水洗トイレ

役場は毎週土曜日が休み

役場は毎週土曜日が休みです。ただし、次の機関は職員が交替で土曜日の業務にあたります。
○ 保育所 ○ 水道事業所 ○ 公民館・勤労青少年ホーム(利用のない日は閉庁とします。)

お元気ですか



畠山美雪保健婦

健康まつりに思う

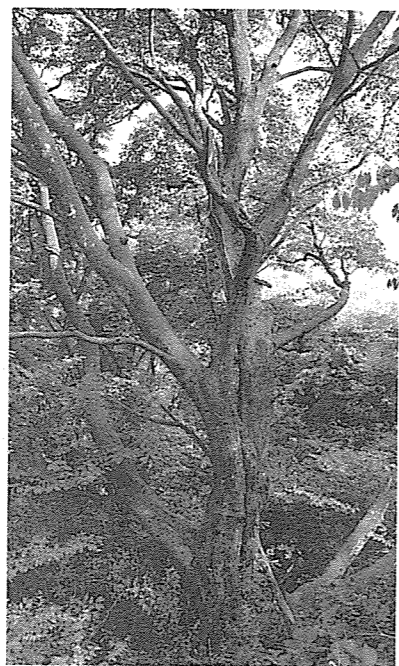
去る十一月十四日・十五日は、「92ふるさと産業・健康まつり」が開催されました。二日間とも晴天に恵まれ、多くの方々が見に来られました。私は、健康まつり(柔剣道場で開催)の健康相談コーナーにいたのですが、二日間で約三百五十人の方が、身長・体重測定や血圧測定等を行っていただきました。日頃行っている健康相談会には、お話しをきけない年齢層の方々の声がいろいろ聞けたのは、良かったなあと思います。身長・体重を測っていると、「去年よりまた背が縮んだ」とか「エッ、体重がまた増えている」など女性に多く聞かれました。身長・体重から、肥満度を判定して、「肥りすぎにはいつてますよ」と言う

町の樹々たち 13

片倉沢のイタヤカエデ

鹿狼山片倉沢の自然林には楓類も多く、秋になると紅葉として私たちの目を楽しませてくれる。

日本は世界で一番紅葉の美しい国であると言われていて、それは、紅葉する樹木が多く山紫水明の風土によくマッチ



樹種名	イタヤカエデ
所在地	新地町杉目字飯樋 片倉沢地内
所有者	新地町
樹 齢	不 明
根回り	368cm
目通り	311cm
樹 高	約30m

するとともに、日本の秋は長くよく日が当たると紅葉する度強いことなどのためと言われている。紅葉、黄葉から草紅葉まで山紅葉する秋の風情を鑑賞する風習は奈良時代からとも平安時代からとも言われている。「カエデ」の名の語源は葉が「かえる」の手ににているところから「かえる」となり「か

えで」となったと言われている。また「カエデ」を「楓」と書くのは平安時代に中国から伝わったときの誤用と言われているが現在は辞書にも用いられているので定着したものと云えよう。片倉沢にはイロハカエデ、オオモミジ、ハウチワカエデ、イタヤカエデ、ウリハダカエデ、メグスリノキなどが見られる。今回紹介するイタヤカエデは鹿狼山南側の遊歩道を登って自然林が終わろうとするところに立っている名木である。

色即是空

楓陽を返すとき

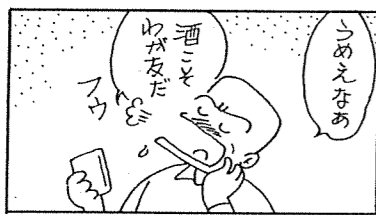
白 穂

メモ

カエデ科には二属約一六十七種があるがその三分の二が日本、朝鮮半島、中国にある。そのほか、園芸品種二百種を数えるが、イロハモミジの変種を中心に圧倒的に日本に多い。イタヤカエデの名は板屋根のように雨水を漏らさない楓の意味だといわれる。カエデ材は楽器、運動具、家具として広く利用されるほかカエデ糖にもなる。

うと「何キロ位いだと理想なんですか?」とか「うん。やっぱりやせなくっちゃいけないなあ」などと気にかけている様子は、特に四十代・五十代の男性の方に多かったようです。中には、「恥ずかしいから測らない」という女性もおります。血圧測定では、「いつもと同じだな」という人から、「なんだいつもより高いなあ。この機械壊れているんじゃないの?」や「やっぱり機械はダメだな」など血圧に関してはいろいろです。血圧は常に変動していますから、値もいろいろに変化するようです。ですから、定期的に測ることが大切ですね。皮下脂肪厚測定も行ったのですが、上半身裸にならないと測定できないため、数人しか測りませんでした。皆さん自分では脂肪が多いと思っていたようですが、測定してみると「普通です」という人がほとんどでした。その他に、健康まつりも、体力測定コーナーや食生活改善コーナーもあり年に一度の行事ですが、こういう機会に健康についての関心を高めてもらえたら、幸いです。

ちゃんファミリー



さわやか

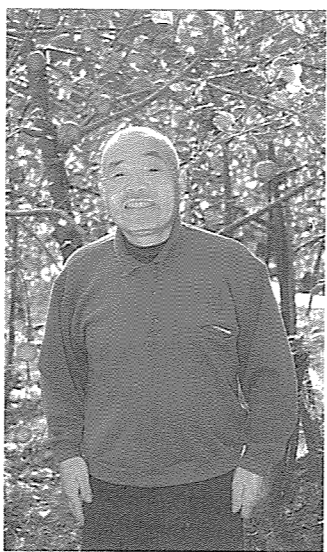


角田美香さん(上真弓)
♥S45.4.18生・血液型 A型・牡羊座

趣味は
ドライブですね

☆お勤めはどちらですか。
○サンキョウエンジニアリング(株)に勤務しています。
☆趣味は何ですか。
○ドライブ(愛車はグロリア)です。
☆休日は何をしていますか。
○友達とショッピングやカラオケをしています。
☆よく歌う曲は。
○松田聖子の「抱いて」
☆スポーツは何かしていますか。
○今は特にないのですが、
(ありがたいございました。)

ハツラツおじいさん



自分の歯が28本もある!!
横山孝治さん(明地)

横山さんは、七十三歳になりますが、今まで歯の治療をしたことがなく、虫歯どころか親知らずを除く二十八本の総ての歯が揃っています。
いつまでも丈夫な歯でいる秘訣は「小さいときから朝晩ちゃんと歯を磨いていたからだ。でも、同じく毎日歯を磨いていても虫歯になる人



寺島孝さん
(25歳・小川)

頑張るマン



くといつてよいほど無知でしたが、今では車に関してはちょっとうるさいですよ。それに灯油などの配達もしているの町内なら分らないところ

私は歩くナビゲーター

JA新地町の農協スタンドに勤めて三年目の寺島さんは、とても明るく、ひょうきんな若者。「この仕事に就く前は、車のことに関しては、まったく

スポーツなら何でもこなすという寺島さんは、友人らと野球チーム(マヨネーズ)を結成しており、町野球リーグに参加しています。野球が終

自分なりに
楽しみながら歩く

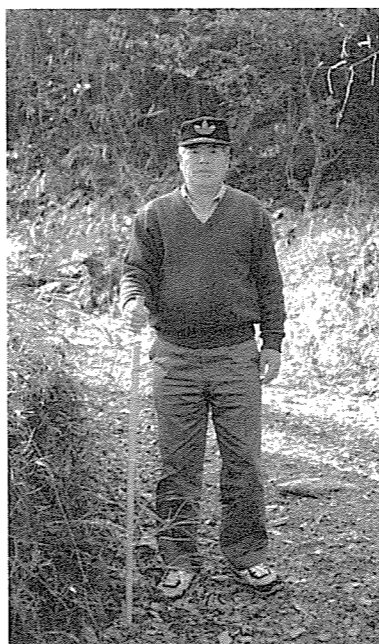
みんなの
10-30



余暇=自由に使える時間。人生をより充実させるための貴重な時間。定年で退職してもその後の人生は20年以上もあります。今回は、毎日散歩を楽しんでいるという小幡さんに投稿をお願いしました。(どんなことでも結構です。みなさんの声をどんどんお寄せください。)

小幡英一さん(今神)

中学卒業後四十年間、故郷を離れ自衛隊退職後生れ故郷の人となりましたが、新地生れで新地育ちとは名ばかりで、自分の集落以外の人や町のようすも殆んど知りませんでした。運動不足の解消と子供の頃の鹿狼山登山の思い出等から



▲木洩れ日の中を歩く小幡さん

散歩すること思い立ち、一万分の一の地図を頼りに毎日違った道をコースを変えて歩いて見ました。毎日一〜二時間多いときには興に乗り四〜五時間に及ぶこともありましたが、車の生活に馴れた体には相違きつい思いもしましたが、徐

々に疲れを感じない様になりました。新地町の自然と開発の静と動の間をさまよい、うまい空気を存分に味いながらの散歩は誠に乙なものでした。町には縄紋の昔から現在に至る様々な遺跡が多く、また奈良の飛鳥三山にも匹敵するよう美しい山々もあり、各列の溜池は京都の深泥池の静けさを思わせます。海辺の美しさも一入です。

わが家の
アイドル

●みなさんのお子さんの写真をお寄せください。
お子さんの住所・氏名・年齢・電話番号を忘れずに。



田村昌士くん
(2歳11ヶ月・小川)



只野弘斗くん
(1歳7ヶ月・城内)

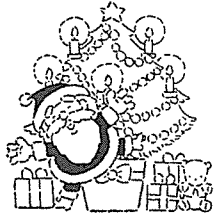


坂元空也くん
(1歳1ヶ月・釣師)

J A新地町の農協スタンドに勤めて三年目の寺島さんは、とても明るく、ひょうきんな若者。「この仕事に就く前は、車のことに関しては、まったく

わってこれからの季節はスキーに専念するそうです。寺島さんの理想の女性のタイプは、明るく、はつきりしている人。芸能人では、千堂あきほ。結婚については尋ねると「今のところは全然考えていません。まあ、遅くても三十歳くらいまでにはしたいですね。それまでにお金も貯めとかないといけませんね(笑)」と余裕の答えが返ってきました。

消
息



10/21~11/20
届出

▷出生(届出は14日以内に)
おめでとうございます。

(子供)	(親)	(地区)
祐香	八卷 和久	高田
祐司	菅野 幸一	菅谷
祐尋	菅野 清米	菅谷
アミ	早川 秀樹	中里
瑞穂	荒 昇	作田
友哉	中村 豊	小川
萌子	前澤 良男	釣師
絵理	佐藤 正義	上真弓
さやか	加藤 直美	岡
淳	森 浩信	上ノ町
正彦	鈴木 正人	沢口

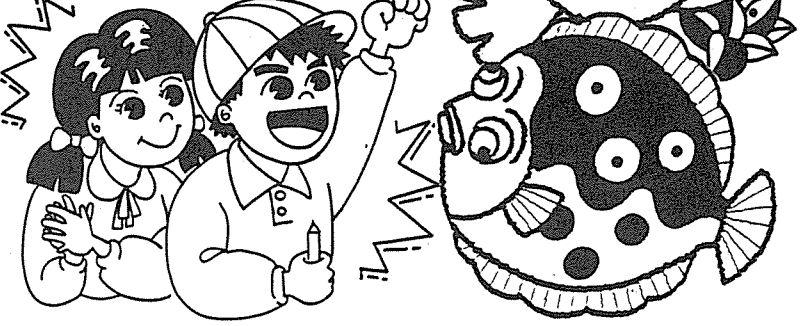
▷死亡(届出は7日以内に)
おくりあげます。

(死亡者)	(年齢)	(地区)
佐藤 三雄	76歳	富倉
菅野モモヨ	90歳	菅谷
泉田はふよ	77歳	岡泉
佐藤マスエ	84歳	今泉

※この欄に掲載を希望しない方は、届出のときに申し出てください。

海と山・やすらぎの新地町
町の鳥、町の魚募集中

新地町を象徴する鳥や魚を制定することで、町民の心よびどころや自然や生物を愛する心を育み、また、町のイメージキャラクターとして活用するため、「町の鳥」「町の魚」を募集します。みなさん、ふるさとを愛募ください!



●応募方法
新地町にふさわしく、親しみやすい鳥・魚として今後の町のキャラクターとして活用しますので、それぞれの選定理由もあわせて記入してください。

●応募資格
個人、グループ、小中学生などどなたでも自由。

●応募上の注意
一人でも何点でも可。

●応募用紙には、住所・氏名(フリガナ)、性別・年齢・職業(学校名・学年)、連絡先(電話番号)を記入してください。

●募集期限
平成5年1月29日(金)まで

●応募先
〒979-27 新地町谷地小屋字秋崎40 新地町役場企画振興課
☎2111(内線35・63)

●ほう賞
最優秀賞：1名(賞状及び賞品)
佳作：若干名(賞状及び賞品)

※該当者が多数の場合は、抽選により決定します。

人口&世帯

11月1日現在 ()内は前月比

人口	9,035人 (+7)
男	4,427人 (+2)
女	4,608人 (+5)
世帯数	2,188世帯 (+1)

今月の納税等

固定資産税	第4期
国民健康保険税	第5期
国民年金	12月分
水道料	第1・第6行政区

町長日記
荒 和英

10月	献血推進協議会
20日	臨時議会
21日	岡地区運動会
25日	県港湾整備促進大会
26日	入札、卸売市場地鎮祭、公立看護学院祝賀式
28日	相馬北部改良区理事会、ふるさと産業健康まつり実行委員会、総務常任委員会
29日	町民の翼帰国報告会
11月	町表彰式
3日	町交通安全総ぐるみ大会
5日	町民ゲートボール大会、防火パレード、入札
9日	農業用施設維持管理優良
10日	

こちら編集室

▼昨年に続きこの時期「町民の翼」を取りあげていると今年もあとわずかなあと実感します。少し早いのですが、今年を振り返ると、町の人口が九千人台に復活、予算も五十億円を突破、新地小学校舎の完成、特養ホーム、一般廃棄物処理施設、防災行政無線などの着工、また、町民運動会や産業・健康まつり、中央と地元作家三十八人による絵画展の開催等多くの事業やイベントが行われました。▼一方、学校第二土曜日が休日、行政機関等の土曜閉庁の実施など、国際化社会の中で、ゆとりの教育や豊かな生活の実現等が大きな課題となった年でもありました。▼一年間、ご愛読ありがとうございました。(M.S)

発行と編集/新地町役場・企画振興課
(〒979-27 福島県相馬郡新地町谷地小屋字秋崎40 ☎0244-2111)
資源保護のため再生紙を使用しています。